

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス飛行船		公表日		令和7年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・活動、宿題でスペースを分けています。 ・活動内容によりテーブルの配置を変えています。 ・クールダウン時は他児の死角になるよう別室を使用し配慮しています。 ・体を動かしたい児童は公園にてサッカー等行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・賃貸物件のため大家さんと相談しながら出来る範囲で環境を整えています。 ・車椅子児童の動線に合わせてスロープの設置や段差が無いよう配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・児童の成長に合わせて物の配置や環境を整える等工夫しています。 ・毎日の掃除、感染症対策等行い清潔な環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・パーティーションや簡易テントを用いたり、クールダウン時には台所で過ごす等対応しています。 ・洗面所にカーテンを引き着替え場所を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・会議やミーティングにて提案し話し合う事で業務改善を行っています。活動内容等職員に周知し各自の意見を書き出すことで職員全員が意見を出せるようにしています。 ・申し送りノートを活用し意見交換、周知を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者評価は行っていないですが、外部の方に参加して頂いて第三者委員会を年2回開催しています。 ・同系列の事業所間で相互監査を毎年行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・出来るだけ多くの研修の機会が持てるように努めています。受けた研修は研修報告や事業所内研修に取り入れて職員が活かせるようにしています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	6		・令和7年4月の義務化に向けて3月中に公表を予定しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・日々の行動記録を取り、ケース会議にて職員間で話し合い、アセスメントを行い情報を共有し計画を作成しています。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・児童に合わせたアセスメントツールを用いています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・1年間の活動計画を作成し、各月の内容、各週ごとの内容を決めて取り組んでいます。 ・曜日ごとに5領域に沿った活動内容を実施していますが、週で取り組むことにより曜日で固定されないように配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・その日のうちに管理者に報告し、翌日のミーティングにて周知し、情報を共有しています。 ・必要がある場合においては支援終了後にミーティングを開いています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・活動を提案し選択することで自己決定を支援しています。 ・活動に気が進まない時には体調や気持ちを受容し、ゆっくり休んでよいことを伝えていきます。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・新規利用時にはサービス担当者会議に参加し、こども園、幼稚園への見学を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・令和6年度は感染症等で近隣の学童との交流が出来ませんでしたが、『ふれあい感謝祭』のチラシを配りながら近況報告をしています。 ・『ふれあい感謝祭』を開催し、地域の児童や親子が参加されました。	・今後は近隣の学童と合同行事を行うなど交流を進めていきたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・保護者交流会にて児童への声の掛け方や対応について実際に見ていただく機会がありました。 ・保護者への申し送り時に児童への声の掛け方、それに対する児童の様子をお伝えしながら情報共有しています。	・保護者の皆さんの要望を聞きながら一緒に学びの場をつくりたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明をおこなっています。 ・運営規程等変更があった時にはその都度文書を作成し、説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・電話や訪問にて個別に相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	・令和6年11月に保護者交流会を開催し、リース制作と焼き芋会を行いました。兄弟での参加があり、保護者の交流の場にもなっていました。	・今後は回数を増やしていきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情に関わる案件について報告書を作成し、職員全員で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月『飛行船だより』を発行しています。 ・令和6年10月から保護者との連絡手段として通信アプリを導入しています。こちらを利用し連絡を取りあえる様にしています。 ・令和7年1月より月の活動計画を保護者に通知しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報に関する文書はキャビネットに保管し施錠しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・ 毎月第二水曜日の10時から12時まで施設を開放し近隣の方を招いて『ちゃばなし会』を実施しています。 ・ 令和6年9月に『ふれあい感謝祭』を開催し、たくさんの地域の方々に参加して頂きました。 ・ 公民館にエコキャップ回収箱を設置して地域の皆さんや自治会の方々に協力して頂いています。 ・ 読み聞かせボランティアさんに年3回程来て頂いて読み聞かせ会を行っています。 ・ 高齢者施設を訪問し児童のダンス発表を行いました。行事などで交流を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・ 現在対象者はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	6	・ 月1回の避難訓練、防災学習の内容について提供記録や飛行船だよりにて保護者にお伝えしています。	・ 令和6年10月から保護者との連絡手段として通信アプリを導入しており、こちらを活用していく予定です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・ 県や自治体での研修、施設内研修を行い、第三者委員会を年に2回開催しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		